

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス ひまわりはうす	公表日	2026年5月8日
------	--------------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		法令に従って十分な訓練スペースを確保しています。活動内容に合わせて十分な訓練が行えるよう環境設定を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		法令に従って職員の人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		室内はバリアフリー化されています。 活動スペース、静養室、勉強部屋等、各部屋を設けており、シンプルで分かりやすい環境にな	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		訓練室、勉強部屋、静養室に分けられており、必要に応じての場所で過ごせる環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	3	日々、職員間で情報を共有しています。定期的に職員会議を開き、目標設定の見直しやより良い支援を考えています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		年に一度、保護者の皆様に事業所アンケートにご協力頂き、頂いた意見を真摯に受け止め、業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		毎月、職員会議を行い、意見を出し合いながら業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5	第三者による外部評価は行っていません。	必要性があれば検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		外部研修などにも積極的に参加し、知識を広げ学ぶ機会を設けています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		支援にあたる職員で意見を出し合い、より好ましいプログラムを立案していきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		活動予定の曜日固定は、習慣付けることの必要 性と、子供たちの見通しが立つようにと考えて おります。曜日固定のご利用でもご希望に沿っ た活動も取り組めるよう心掛けて参ります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	12		特性や発達状況に応じて、個別活動と集団 活動のバランスを考えて計画を立てていま す。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	12		主担当の職員を中心にその日の活動内容、 動きを確認し、スムーズに支援が出来るよ うにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		今後の課題や改善点等を共有し、次の支援 内容に生かすようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	12			
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。	9	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	4		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	4		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	12			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	11	1	直接学校に伺い、送迎時の取り決め、安全確認 などを行っています。また、送迎時間等を記載 した書類を作成し、保護者、学校、事業所間で 行き違いが起らないようよう努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービスマ 事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。		12	現時点では学校を卒業した利用児童がいま せん。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。		12	必要性があれば検討していきます。	必要性があれば検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		12	地域の自立支援協議会には参加していま せんが、福祉連絡会には参加し、地域の困り ごとを他の事業所の方と一緒に協議してい ます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	12			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。		12	ニーズに合わせて検討していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	12		契約時に規定を明確に提示し、利用者負担 等についても説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	5		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を 行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている か。	12			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		12	休止している保護者様参加型のイベントを再度企画し、保護者様同士の連携の場を設けていきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		いつでも相談して頂ける関係・環境を作るようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		インスタグラムの更新に努めています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		12	地域住民の方を招待できる活動はありませんが、老人福祉施設の方との交流会を実施していました。現在休止中です。	コロナ以降行えていません。老人福祉施設側の許可が出れば再開予定です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		マニュアルを策定し、職員に周知するとともに、発生を想定した訓練や研修を行っています。事業所内にマニュアルを設置し、保護者様にはいつでもお読みして頂けるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		定期的にミーティングや職員会議を開き、職員内で情報を共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12			